



**神馬図【御神寶】**  
 奉納年は不明であるが、「溝手九七郎丙子歳男」と記されている事から同氏が奉納したものと思われる。  
 描かれている馬は白毛の馬であることから、晴天を願うために奉納されたのかも知れない。  
 この絵馬も典型的な馬形絵である。



**嫁入図【御神寶】**  
 文政三年(1820)二月 京都 高畑氏奉納。  
 昔の嫁入りは、夕方暗くなつてからが多かつたので、提灯を掲げ花嫁を取り巻いて「ヨメイリヨイ」とはやし立てて送り込んだ。そんな情景が浮かぶような絵馬である。



**獅子と牡丹**  
 明治二十年奉納。絵馬の額に奉納者の氏名が記されている。



これを能の演目、大江山(五番目物の鬼退治物)として伝えられている。  
 その「大江山」を演じているところを生き生きと詳細に描いている。



**曳馬図【御神寶】**  
 宝暦十年(1760)九月に奉納されており、京都 備後●九兵衛と記されている。  
 この絵馬は、絵馬の原型ともいえる馬形絵で、烏帽子に直垂姿の二人の馭者が黒馬の手綱をとつて従うところを、板面いっぱい力強く描いた典型的な曳馬の図である。



**海神御象 神刻額【御神寶】**  
 奉納年は不明であるが、絵馬の裏面に「正平五年(1350・南朝)二月二十一日隼鳥宮崎邑大吉備津彦命御勧請 享保六年(1721)神裔賀陽貞房祭主 太田判官源朝臣直全祝部刻傳」と記されている。